

遺伝子スキル

with chatGENE Pro

解放すれば

最高の自分にな

れるかもしれない件

KEAN
HEALTH

現状の遺伝子検査は

医療的で
堅苦しく
なんか怖い

個人情報
が心配

費用に
見合うのか
わからない

などの印象があり、認知していたとしても
心理的なハードルが高い。

しかし、親和性の高いマーケットがある。

それは

轉生界限

転生願望は、自己理解の入り口だ。

遺伝子スキル

with chatGENE Pro

解放すれば

最高の自分に

なれるかもしれない件

ターゲットについて (1)

<代表作>

『転生したらスライムだった件』
『Re：ゼロから始める異世界生活』
『無職転生
～異世界行ったら本気だす～』
…などなど

転生界隈とは？

ライトノベル市場だけでも

・紙媒体……211.5 億円
・電子書籍… 65.1 億円
・合計……約276.6 億円
(2022 年)

- 2000 年代以降、ライトノベルや漫画、アニメなどで流行し、多くの人気作品を生んだジャンル。主に現実世界で命を落とした主人公が、ファンタジーの異世界に生まれ変わるストーリー。
- 現実世界では得られないスキルや仲間を得て、「本当の自分」を見つける展開が多い。
- 変身願望や自己肯定感の回復に共感を呼び、メディアミックスされるなどで、国内に留まらず大きな市場となっている。
- 特に **20～30 代男性が高く支持**し、媒体によって男女比が異なる。

人気の心理的構造

- 異世界転生作品は、自己否定や現実逃避、変身願望を投影する。
- 話題となったアドラー心理学や心理学研究でも、「生まれ変わり」への願望は自己理想の探求と結びつくとされる。
- つまり、「転生願望」＝「**自分を見つめ、変わりたいという意志**」

支持者の課題

- 転生界限支持者は、自己評価が低くなりやすい。
しかし、その一方、**自己分析・自己理解への関心が非常に高い**。
- そのため、エンタメ要素のある「自己理解ツール」があれば、自然に**受け入れられる土壌がある**。

企画内容（1）

自己評価が低いのは、
「ありのままの自分を受け止められてない」ケースがある。

しかし、自分の傾向を知らなければ
魔法使いに剣を与えて「うまく戦えない…」と
落ち込んでいるようなもの。

そんな人たちの、**持って生まれた素質を
chatGENE Pro が引き出す！**

chatGENE Pro は

遺伝子スキル解放のキーアイテム

企画内容（2）



セルフチェックサイトをつくり、軽い気持ちで自己理解を深めるコンテンツを設置

ユーザー
との
接触ポイント

- 書店で異世界ものの書籍を購入時、しおりやブックカバーから体験できようように誘導。
- アニメグッズショップや同人誌即売会、それらを扱う EC サイトなどからも誘導。
- 入口の印象をユーザーに近づけることで心理的ハードルを下げ、興味を抱かせる。

- パッケージをラノベ風や魔導書などのアイテム風にする。
- 診断結果をゲームのステータス画面風 UI にする。

SNSで
シェアされ
やすく！

SNSでの話題

- 診断もの（血液型から占い、MBTI など）は、王道の人気コンテンツ。
- 弱点（朝弱い、音に敏感など）を「ステ振りミス」と見立て、笑いに昇華。

- ・「わかる w」とリプや引用 RT が増え、共感→拡散の流れ
- ・自己肯定感の回復をネタにするポジティブな空気感を生みやすい

参加型企画

- 「遺伝子スキル解放」をテーマにした小説、漫画など創作コンテンツの募集。
- 遺伝子タイプをテーマにしたキャラクターイラストを募集…など。



まとめ

- 「**ファンタジー × 科学 × 自己分析**」が重なった新しいマーケットを開拓する。
- chatGENE Pro は、転生界限支持層の「変わりたい」「強くなりたい」という願いを、現実に関立つカタチで可視化・肯定することができるアイテム。
- 自分のもつ体質の傾向に合わないことをし、「自分はダメだ」と**必要のない自己否定をする方を、減らす**手助けをする。

“転生願望”は、自己肯定の種になる

